

手術および入院中の経過について

病名：扁桃肥大・アデノイド増殖症（小児）

（症状；鼻閉、鼾、睡眠時無呼吸、中耳炎を繰り返す）

（後に、発達障害、痴呆、肺高血圧などを合併する可能性があります）

手術名：両側口蓋扁桃摘出術、アデノイド切除術

（目的；鼻閉、鼾、睡眠時無呼吸、中耳炎などを起こす原因となっている

口蓋扁桃、アデノイド切除する）

手術日：平成____年____月____日 ・ _____頃 入室
当日のスケジュールの目安 ・ _____頃～_____頃 手術
（ずれることがあります） ・ _____頃 帰宅（ 病棟）
・ 帰宅後 3 時間を目安に飲水許可が出来ます。

麻酔法：全身麻酔（麻酔科管理；麻酔科医が詳しい説明に訪室します）

手術法：2 ページめの手術説明を参照してください

口蓋扁桃を被っている筋肉より剥離して摘出します。

アデノイドを咽頭壁より削ぎ取る様に切除します。

合併症：①疼痛（創部痛）⇨ 坐薬（時に、注射）を使用します。

②後出血(1～3%)→術直後から、術後 2 週間前後まで出血のリスクがあります。術後出血が止まらない場合は全身麻酔下での止血術が必要となる場合があります。

参考文献：口蓋扁桃摘出術術後出血の検討

石田良治ら 耳鼻臨床 99:5:391～395、2006

③含み声（一時的）

④口内炎（手術ストレスによる）

⑤まれに起こる合併症として

[味覚低下、舌のしびれ：開口器による舌の圧迫により、起こる可能性があります]

[創ひきつれによる咽頭痛：ケロイド体質の方では、後で起こることがあります]

※アデノイド切除での出血の可能性について

術後、出血が止まらない場合はベロクタンポンでの圧迫や、全身麻酔下での止血が必要となる場合があります。（緊急止血を要する頻度：0.8%）

参考文献：Konstanze T.et al, Pediatric adenoidectomy:A Population based regional study on epidemiology and outcome, International Journal of Pediatric Otorhinolaryngology 77(2013)1716-1720

手術後：①点滴（止血剤・抗生剤）を 3 日間→以後内服になります。

②診察：毎朝（3 西処置室にて）、③喉頭ネブライザー（のどの吸入療法）、

④うがいの励行、

⑤食事・運動制限（退院後約 1 週間まで）；指示に従って下さい。

退院の目安：____月____日頃（5 日間入院）

*退院の約 1 週後に診察して終了となる見込みです。

それまではうがいを励行し、激しい運動や硬い食事の摂取は禁止です。

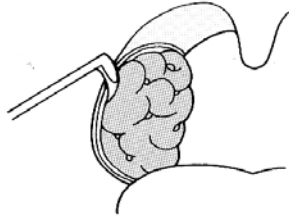
なお、質問、疑問、要望などは遠慮せずにお申し出下さい。

手術説明

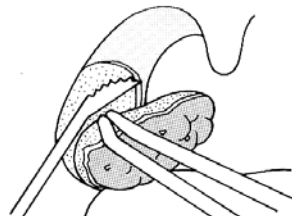
1. 口蓋扁桃摘出術

手術は口の中から行います。開口器で口を開けた状態で手術を行います。口蓋扁桃は薄い膜で覆われていて、その膜に沿って剥がしていき扁桃を摘出します。手術自体にかかる時間は20分～60分です。

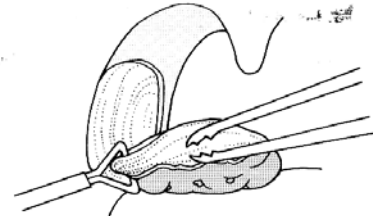
手術後2週間は出血するおそれがあるので、固い物を食べたり、激しい運動、咳ばらいをしたりすることをさけて下さい。**退院後、1週間程度の自宅療養**が望ましいです。



鎌状刀による粘膜全周切開



被膜にそって剝離



絞断器による摘出

2. アデノイド切除術

手術は口の中から行います。開口器で口を開けた後、切除する機械を口の中に入れてアデノイドを切り取ります。

間接喉頭鏡という鏡で見ながらアデノイドを確認し、ベックマン輪状刀という刃物でアデノイドを切除します。

